

「楽なモモづくり」にかける想いが地域農業を次世代につなぐ【山梨県甲州市】

こうしゅうし

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- 「**楽なモモづくり**」が出来なければ、この産地は続かない」ということから次世代につなぐ産地づくりの願いを込め、**集落農業組織「らくらく農業推進委員会」を設立**。幅広い担い手による労力を確保。
- **大型農業機械の導入**とともに、**農地を集積**し、共同作業による**農作業の効率化**を推進。

樹園地の整備による労力軽減と生産の安定化

山梨県で初めてとなる既存樹園地の基盤整備に取り組み、緩傾斜化や園内道の整備を通じて、**大型農業機械を導入**。**薬剤散布・堆肥施用・草刈りなどの重労働を軽減**するほか、高品質なモモの安定栽培が可能となった。

(※農薬散布:50分→9分/10a、堆肥施用:1日→40分/10a)



基盤整備
(H10年～H16年)

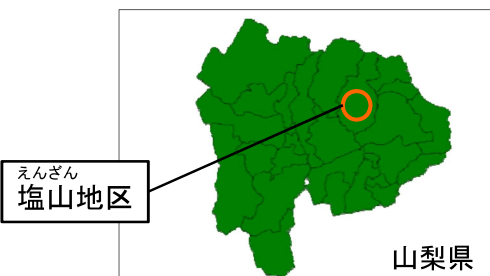
【整備前】

高齢化や**担い手不足**が深刻化し遊休農地が増加していた。また、**急峻な地形**や**不整形で狭小な区画**のため、**機械化が困難**であり、**農作業に多大な労力**を要し、品質や収量が不安定な状態であった。



【取組地域の概要】

- 位置 とうしゅうし
山梨県 甲州市



- 傾斜
 - ・約1/8程度
- 主要作物
 - ・モモ
- 主な支援施策
 - ・国営笛吹川農業水利事業(S46～S63)
 - ・県営かんがい排水事業(S48～H13)
 - ・畑地帯総合整備事業(S63～H12)
 - ・中山間地域総合整備事業(H10～H16)
 - ・広域営農団地農道整備事業(H1～H19)

生産現場

次世代に引き継げる生産体制の構築

- 集落営農によって、管理作業などを大型機械による**共同作業として実施**。
- **低樹高栽培の導入**や品種毎に通りを揃えた並木植、植栽距離の固定化等により労力を軽減。



流通

直売所にて農産物を無駄なく販売

- 1級品の農産物の系統出荷に加え、**これまで出荷できなかった2級品等を直売所で販売**することにより、所得増加を図る。



担い手

集落営農を通じた担い手の確保・育成

- 「**楽な営農**」の実現による**産地維持**を目指し、集落農業組織を設立。
- 講習会(栽培技術の向上)を開催し、**次世代への技術の継承**に努めている。



楽なモモづくり体制の構築と収益の向上

- **楽な農作業ができる生産基盤づくり**に向けて、山梨県で初めて既存果樹園の基盤整備を実施。事業を通じた**営農経費の削減**や**単収の増加**により、農業所得の増加を実現している。



「大藤のモモ」としてブランド化

